

第20回 MGR

2011/5/9

トピック: HCV、PEG-IFN、 α -2a vs. α -2b

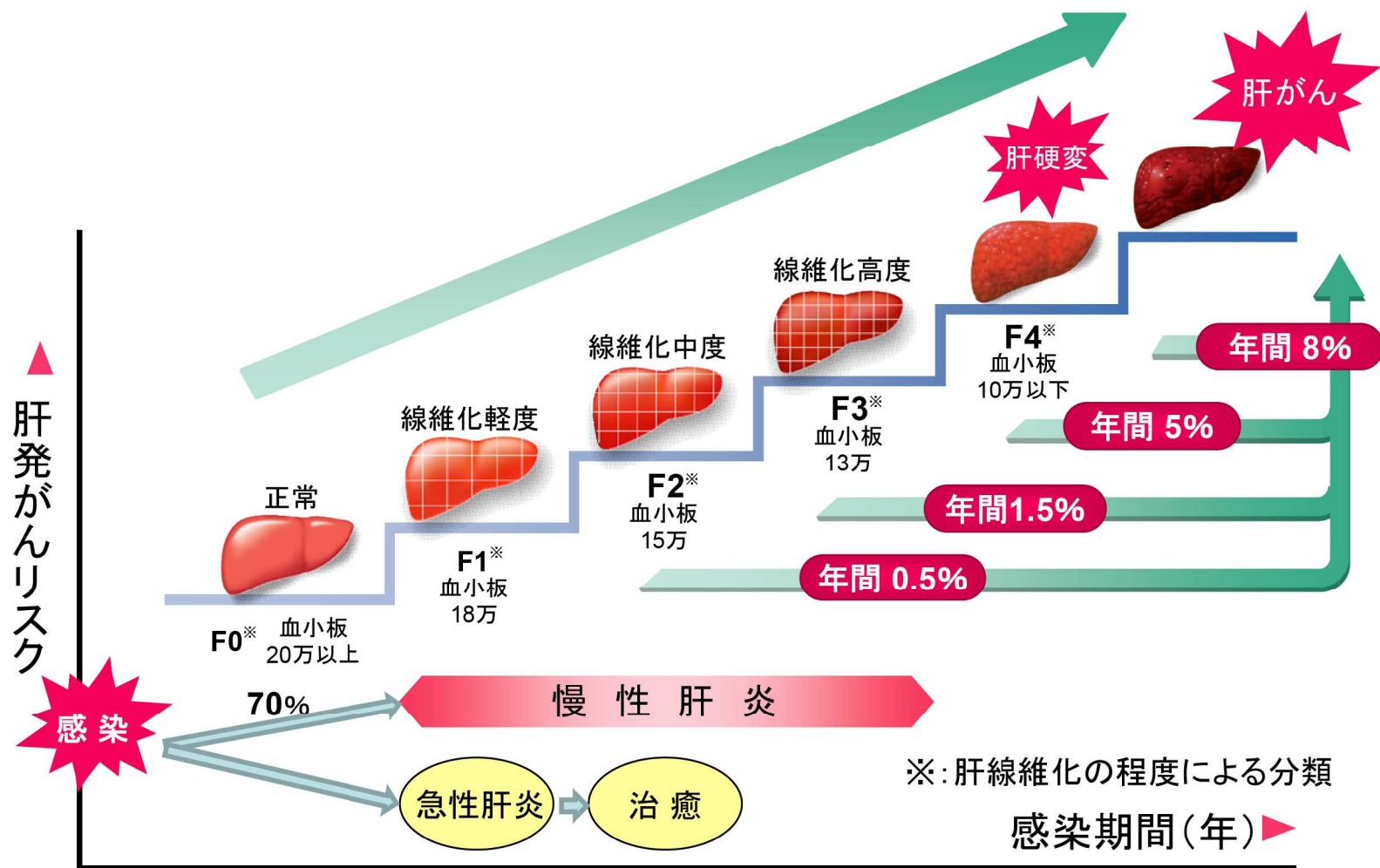
文献: N Engl J Med 2009 ; 361 : 580-93

山梨県立中央病院

発表者 : 浅川 俊輔 (研修医)

コメンテーター : 廣瀬 雄一 (消化器内科)

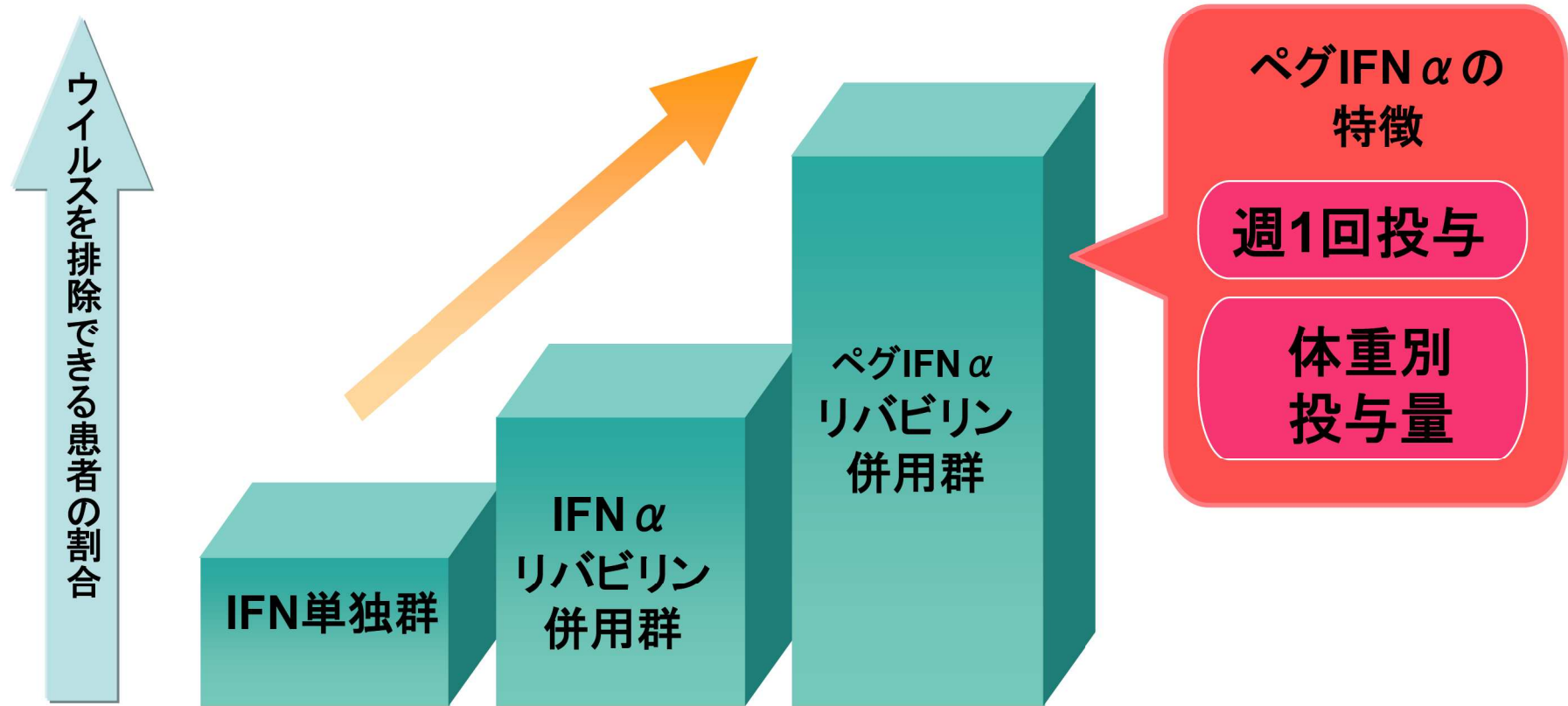
C型慢性肝炎の肝繊維化ステージと発がん



C型慢性肝炎は、自覚症状はほとんどありませんが、放っておくと肝硬変や肝がんへ進展する場合があります。

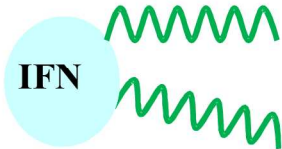

(専門医のための消化器病学, 監修 小俣政男 他 から一部引用し作成)

IFN治療の効果の移り変わり



ペグIFNにリバビリンを併用することにより、ウイルス排除効果や肝機能の改善効果が高まりました。

2つのPEG-IFNプロファイル*

製剤名	ペガシス	ペグイントロン
一般名	PEG-IFN α -2a	PEG-IFN α -2b
メーカー	中外製薬(ロシュ)社	MSD社
PEGタイプ	分岐鎖(40kD) 	1本鎖(12kD) 
剤型	液剤	凍結乾燥製剤
血中半減期	約80時間(40~140時間)	約40時間(22~60時間)
Cmax	72~96時間	15~44時間
通常1回投与量	180 μ g(1mL)	1.5 μ g/kg
併用リバビリン製剤	コペガス	レベトール
併用リバビリン剤型	錠剤	カプセル剤

*1) 国内外の資料を引用、*2) IFNの分子量は約20kD



The NEW ENGLAND
JOURNAL of MEDICINE

Peginterferon Alfa-2b or Alfa-2a with Ribavirin
for Treatment of Hepatitis C Infection

C 型肝炎の治療におけるリバビリン併用下での
ペグインターフェロン α -2b・ α -2a の比較

J.G. McHutchison and others
(Duke University Medical Center and others)